



沢池小だより



茨木市立沢池小学校

令和4年（2022）年2月24日

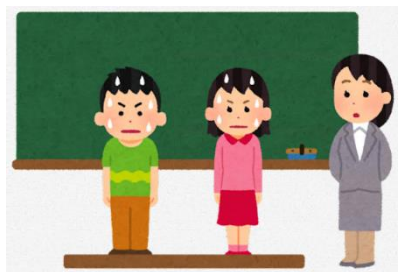
2月第2号

学校教育自己診断より

冬休みにご回答いただいた学校教育自己診断について、学校で考察を行いました。「よくあてはまる（そう思う）」「おおむねあてはまる（少し思う）」「おおむねあてはまらない（あまり思わない）」「あてはまらない（思わない）」を選択する設問では、「よくあてはまる（そう思う）」と「おおむねあてはまる（少し思う）」をあわせて「肯定的回答」とし、その割合をもとに考えられること、今後学校が心がけていこうとすることをお伝えします。

＜学校生活、教育活動・学校経営＞

- ・多くの設問で児童の肯定的回答が90%を超えており、「よくあてはまる」も50%を超え、積極的な肯定も多かったです。また、人権尊重、学力向上、規範意識、教員との関係性、自分のモチベーションなど、どれも肯定的回答が偏りなく多かったです。児童はいろいろなことに前向きでよく取り組んでいます。
- ・否定的な回答は若干あり、それぞれ対応を考えていきます。例えば「いじめはいけないこと」について、（肯定的回答は十分高いのですが）さらに高めていけるよう、人権教育を推進していきたいと思います。今後も児童1人1人に目を向け、安心して過ごせ、よく学び、楽しい学校づくりを継続していきます。
- ・肯定的回答の最下位は「ろうかの歩き方」でした。ろうかを走り回っている印象はあまりないのですが、その他の規範意識も含め、今後も取り組みを考えていきます。
- ・次いで児童の「自分の考えをまとめたり発表する」、保護者では「通知表」の肯定的回答が低かったです。昨年度より本格実施の新学習指導要領による新しい教育活動とその評価はまだ定着していないことがうかがえます。教員は以前より膨大な評価材料をもとにこれらの評価しているのですが、これからは新しくなった指導や評価について、ご理解いただく努力を続けます。



＜新型コロナ対策＞

- ・感染対策やしかたのないこと、代替の取り組みに積極的など、コロナ禍でも前向きに取り組んできたことがわかります。
- ・35%～45%が「コロナが流行っている学校にいくたくはなかった／行かせたくなかった」と回答がありました（裏面 **グラフ1** 参照）。それでも通学している／通学させてもらっていることに、学校の果たす役割をあらためて受け止めました。また、これからは「感染しても大丈夫」だと思えるようなクラス、学校にしていきたいと思っています。

- ・コロナのために不十分だったと感じるものは、低学年と保護者では「水泳」が一番でした。高学年は音楽会などの行事や教育活動の制限が多かったです。一方で児童も保護者も「マスクをした状態での意思疎通」については低位でした。マスクによるコミュニケーション不足の心配をしていますが、それよりは行事や教育活動の制限のほうが不十分と感ずることが大きかったようです。



＜タブレット持ち帰り＞

- ・低学年でも90%は家庭でも自力で活用できているようです。Teamsも定着してきており、タブレット配備初年度としては十分に活用していると思います。これベースに次年度以降、さらに積み上げていきます。
- ・タブレットの破損・盗難、ネットトラブルの心配が児童では60～70%もありました。破損や盗難については、タブレットを大切に扱う気持ちの表れだと思います。
- ・ネットトラブルについて、保護者が児童ほど心配されていないのは、情報モラルをご理解されており、学校のタブレットの情報セキュリティにもある程度のご信頼をいただいているからでしょうか（ **グラフ2** ）。
- ・家庭での使用ルールについては回答がおおよそ四分割に分かれ、半数は家庭ルールがないようです（ **グラフ3** ）。あらためて家庭でのルールづくりについてお願いします。具体的には、タブレット使用の時間帯や使用目的についてルールを設けるのはどうでしょうか。動画サイトをだらだら見ているのはいかがなものかと思いますが、調べたいことを検索する、タッチタイピングの練習をするなど、児童の自発的な活用は大いに期待しています。

＜経年比較＞（ **グラフ4** ）

- ・ほとんどの設問で平成27年度から、29年度、令和元年度、今年度と、肯定的回答が高まってきました。今の6年生が入学するころかそれ以前からご家庭の協力と、学校の取り組みの継続の成果と考えます。
- ・低学年に比べ、高学年では「運動会などの行事が楽しい」「委員会・クラブ活動が楽しい」の「よくあてはまる」の回答が、令和元年度より今年度は減少していました。これはこの2年間、コロナによる制限があり、コロナ以前のようすを知る子どもたちにとっては当然のことかと思われます。それでも90%以上が肯定的ではありました。

＜非認知能力の伸長＞（ **グラフ5** ）

- ・令和2年度より新学習指導要領で「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」について育成することとされています。茨木市でもこれから先の将来に必要とされる生きる力の育成をめざした第5次教育プランを立て、新しい指導や評価を行っているところです。本校でもペーパーテストなど目に見える学習評価の根幹をなす非認知能力（目に見えない、学びに向かう力）の育成に、教科指導や行事などを通じて取り組んでいます。茨木市で共有している非認知能力の指標に関連した設問を抽出してみましたが、もっと伸ばしたいところが少し見えてきました。次年度の諸活動に活かしたいと思っています。

◇学校教育自己診断 結果のグラフについて

今回、ICT（タブレットやインターネット）を用いて自己診断を実施しました。結果のグラフ全てについては、沢池小学校ホームページに掲載しますので、そちらをご覧くださいませうお願いします。（この紙面では表面の記述に関連するものの一部のみ掲載しています。）

【グラフについて】

- ・4 択の設問については、4 つの設問のパーセンテージを算出し、

「よくあてはまる（そう思う）」は青色（■）

「おおむねあてはまる（少し思う）」は黄緑色（■）

「おおむねあてはまらない（あまり思わない）」は橙色（■）

「あてはまらない（思わない）」は赤色（■）

と色分けした帯グラフにしています。なお、「わからない」と無回答については今回のグラフに加味していません。

- ・「よくあてはまる（そう思う）」と「おおむねあてはまる（少し思う）」を肯定的回答とし、肯定的回答の多い順に設問を並べ替えています。
- ・複数回答可の設問については、実数を棒グラフにしています。

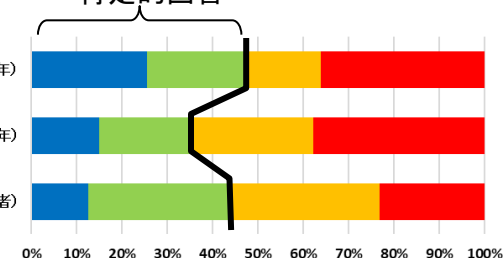
グラフ 1 コロナがはやっているとき

コロナが はやっている ときは がっこうに いきたく なかったです。（低学年）

コロナが はやっている ときは、 学校に行きたく なかった。（高学年）

コロナが 流行っている ときには、 子どもを 学校に行かせたく なかった。（保護者）

肯定的回答

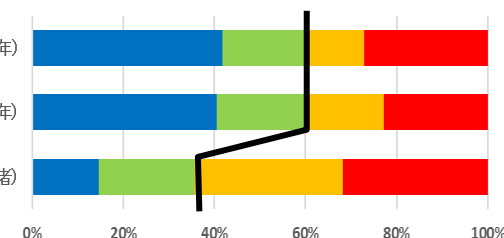


グラフ 2 ネットトラブルの心配

おうちに もちかえった タブレットで いやなめに あわないか じぶんが いけないこと を しなにか しんぱい します。（低学年）

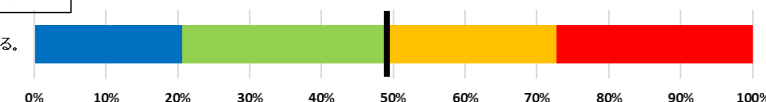
家庭に持ち帰ったタブレットで、ネット上のトラブルにあわないか、トラブルを起こさないか心配だ。（高学年）

家庭に持ち帰ったタブレットで、ネット上のトラブルにあわないか、トラブルを起こさないか心配だ。（保護者）



グラフ 3 タブレットの家庭内ルール

家庭でのタブレットの使用について、何らかのルールを決めている。



グラフ 5 非認知能力に関連する設問（高学年より抽出）

ゆめ力

未来に向かって
努力できる力
コロナのためにできないことがあっても、別の取り組みをいっしょけんめいやっている。

物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。

授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。

将来の夢や目標をもっている。

自分力

自分と向き合い
高める力

いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。

人の役に立つ人間になりたいと思う。

人が困っているときは進んで助けている。

児童会、委員会活動は楽しい。

休み時間、外で遊ぶことや図書室に行くなど、やりたいことがある。

つながり力

他者を思いやり
つながる力

友だちとの約束を守っている。

命の大切さや社会のルールについて学ぶことがある。

自分を大切に、他人への思いやりを考える学習がある。

授業などで、豊かな心や人の生き方について考えることがある。

授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることが楽しい。

学び力

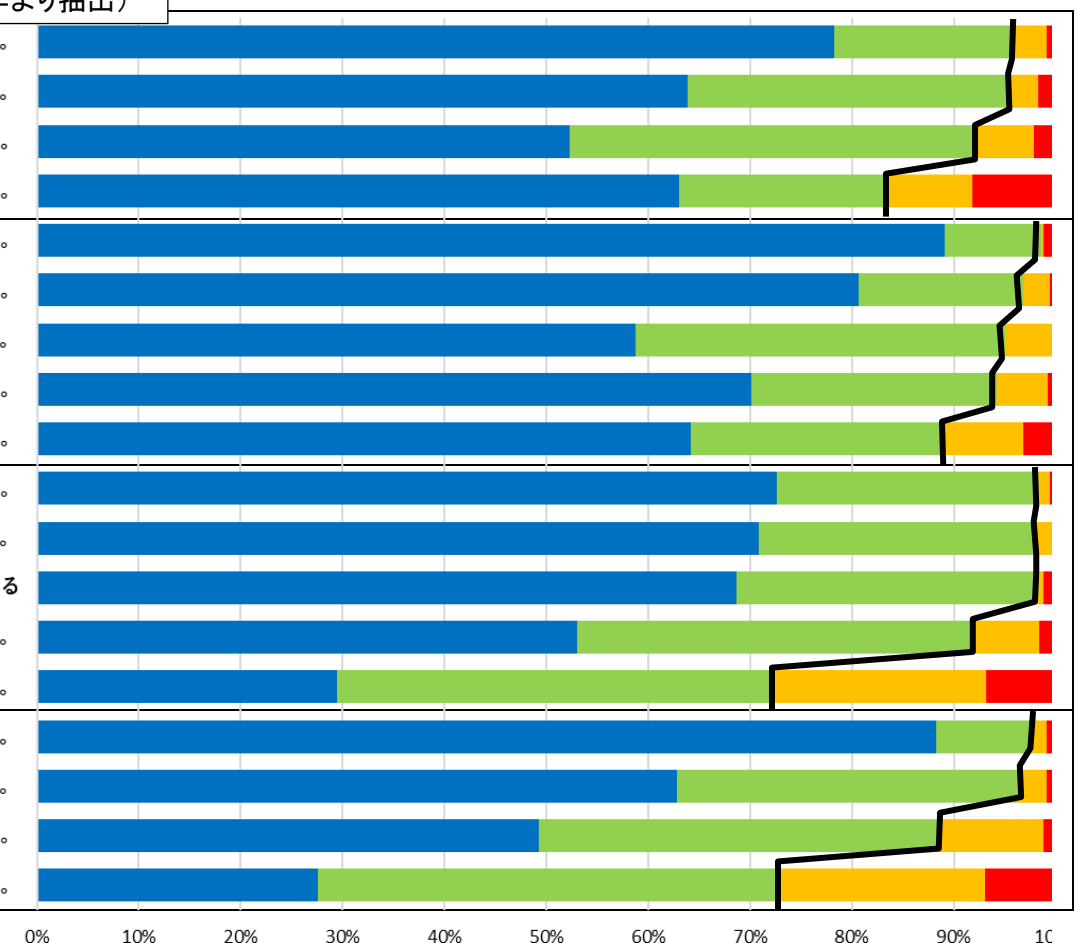
興味関心を広げ
意欲的に学ぶ力

学校で好きな授業がある。

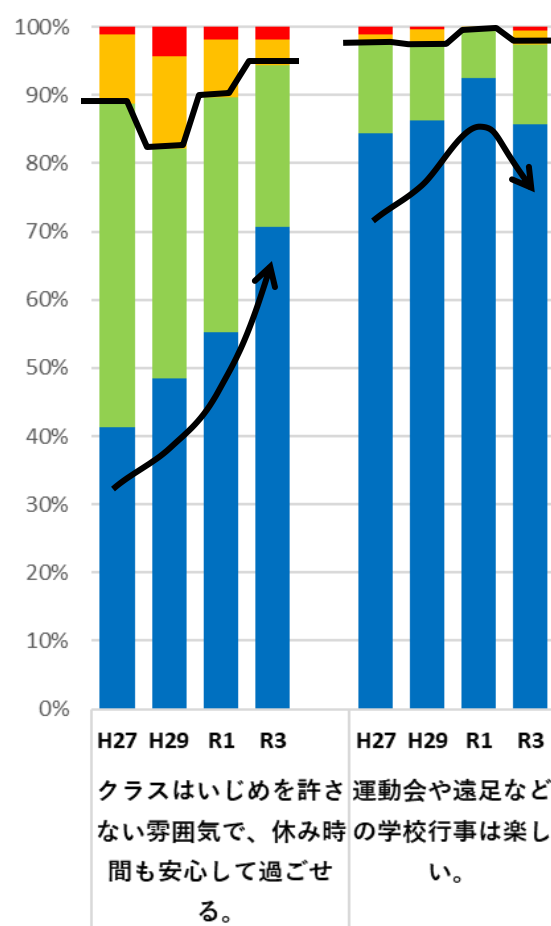
学校の授業の内容はよくわかる。

授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。

難しい問題を解くのが楽しい。

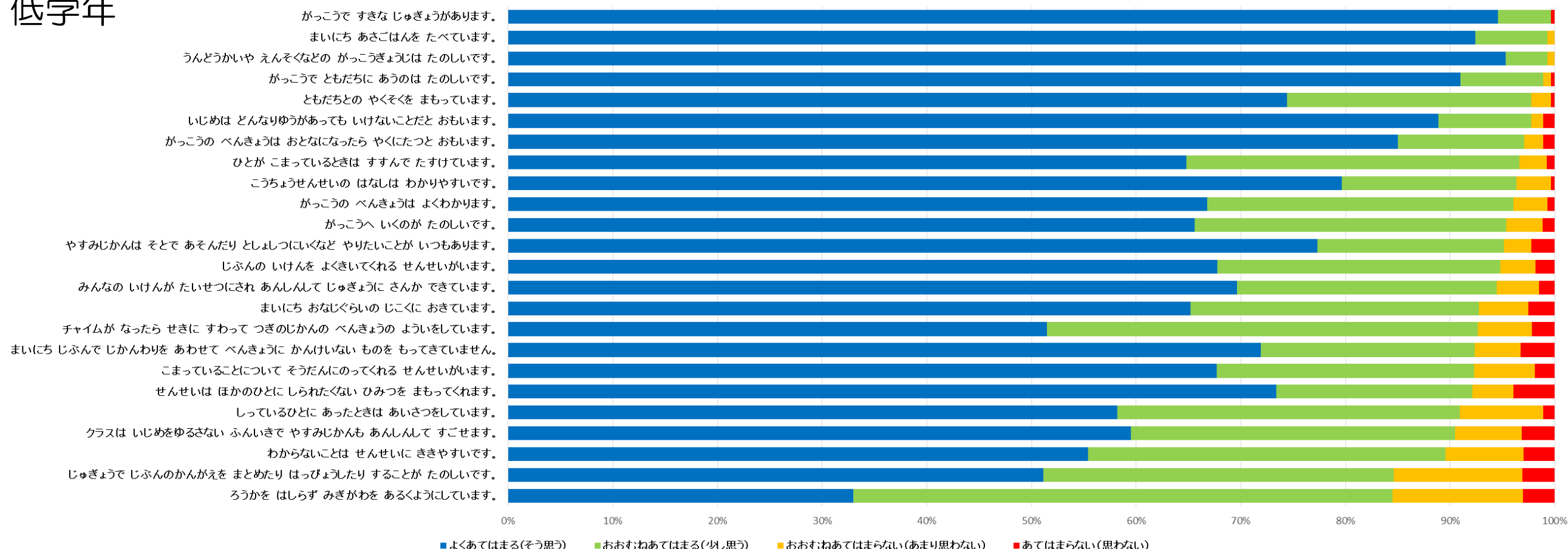


グラフ 4 経年比較（高学年より抜粋）

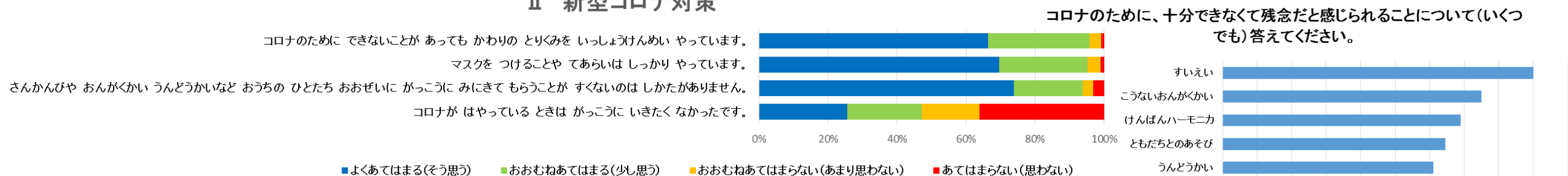


低学年

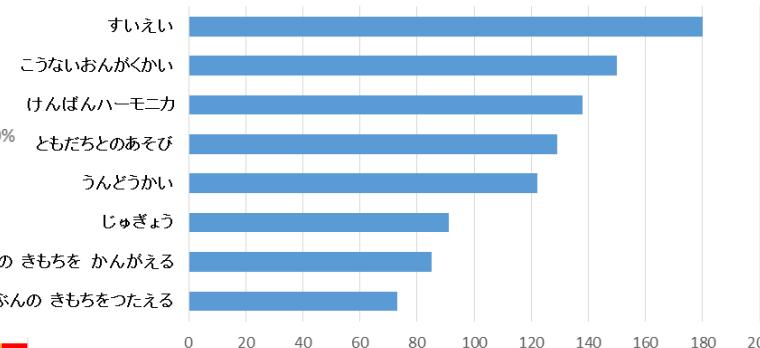
I 学校生活



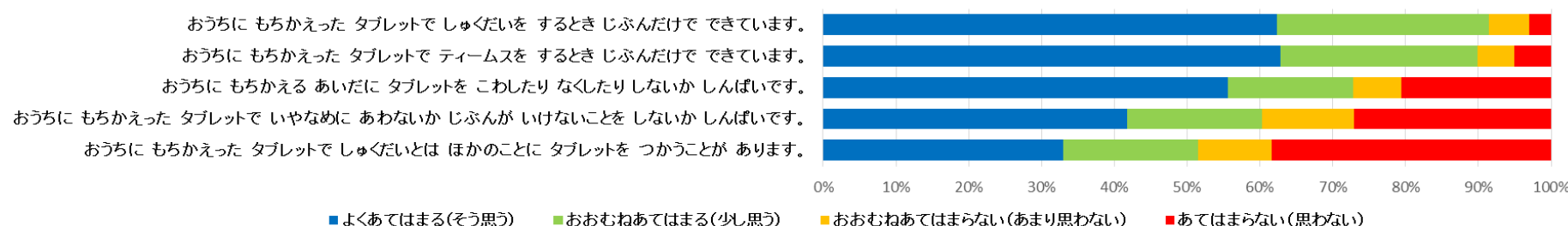
II 新型コロナ対策



コロナのために、十分できなくて残念だと感じられることについて(いくつでも)教えてください。



III タブレット持ち帰り

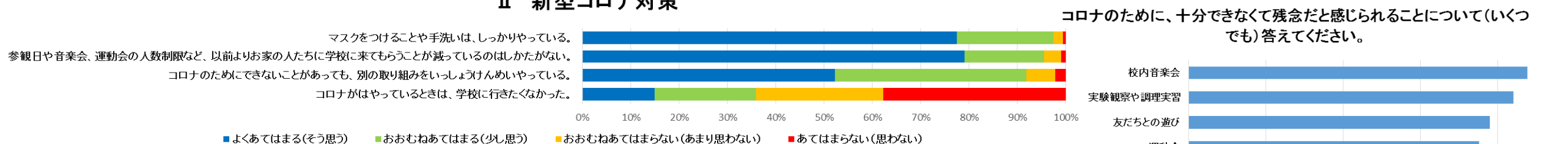


高学年

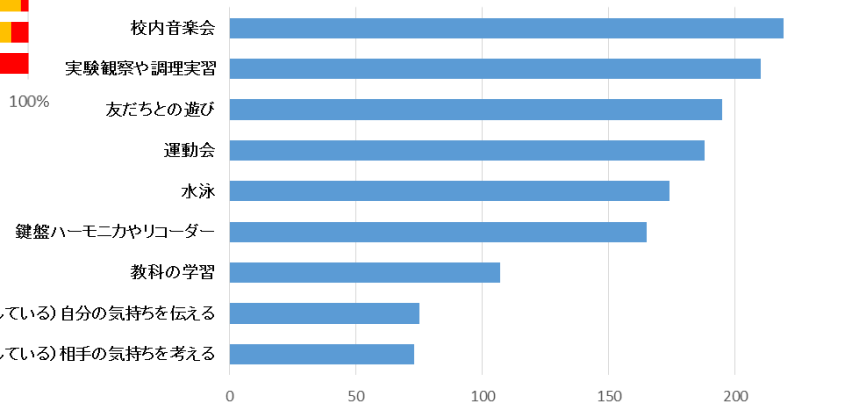
I 学校生活



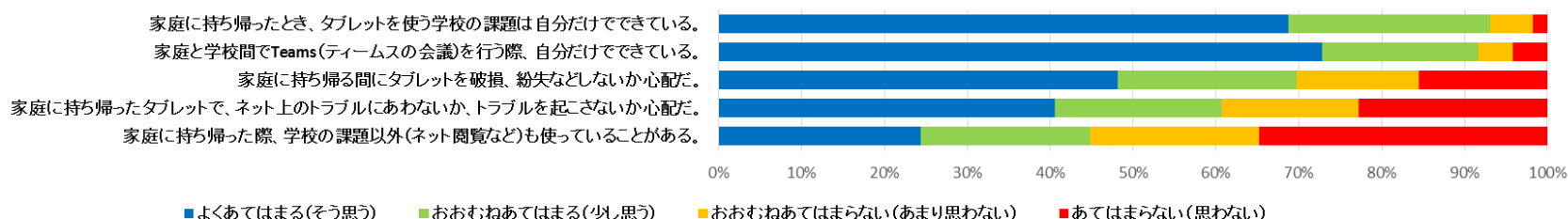
II 新型コロナ対策



コロナのために、十分できなくて残念だと感じられることについて(いくつでも)教えてください。

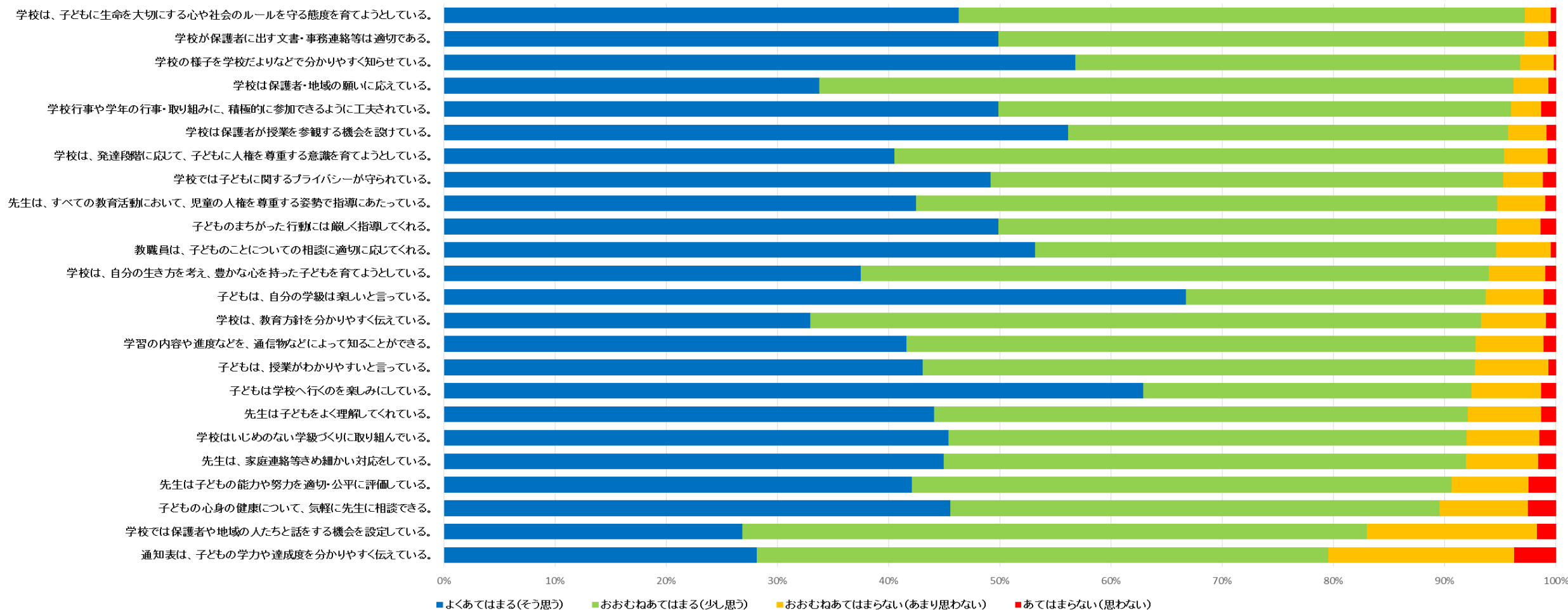


III タブレット持ち帰り

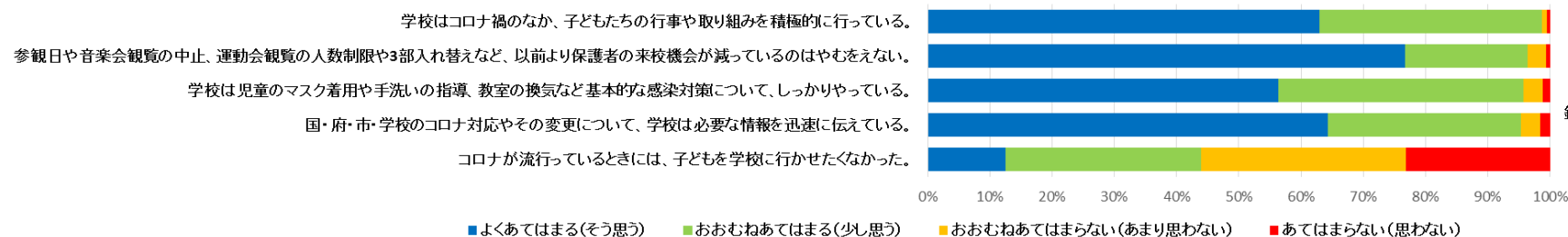


保護者

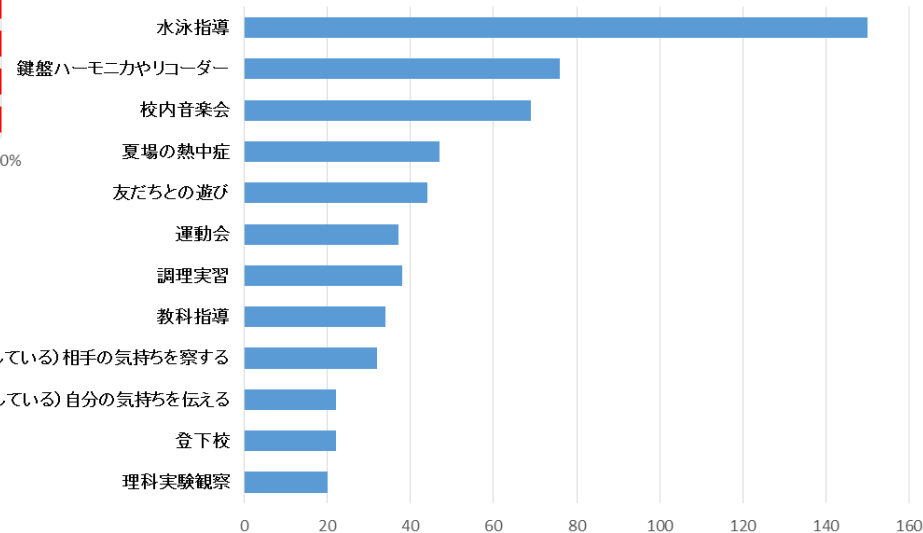
I 教育活動、学校経営



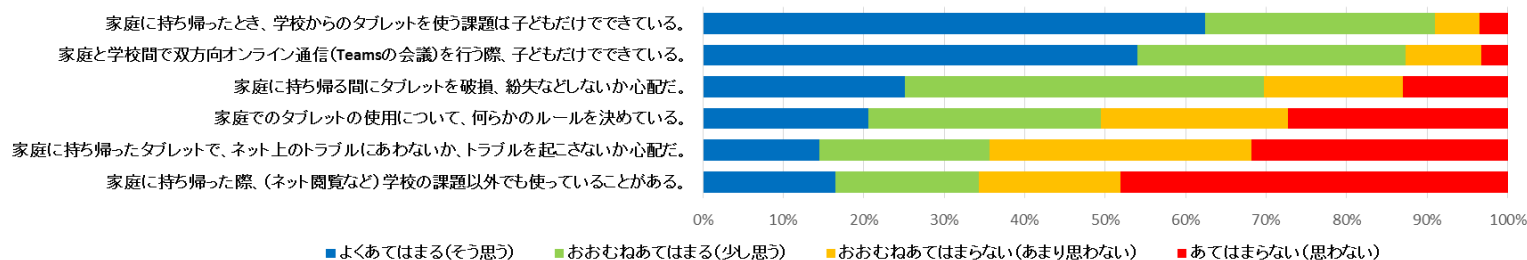
II 新型コロナ感染対策について



コロナ禍での学校生活のなか、対応が不十分だったと感じられることについて(いくつでも)お答えください。



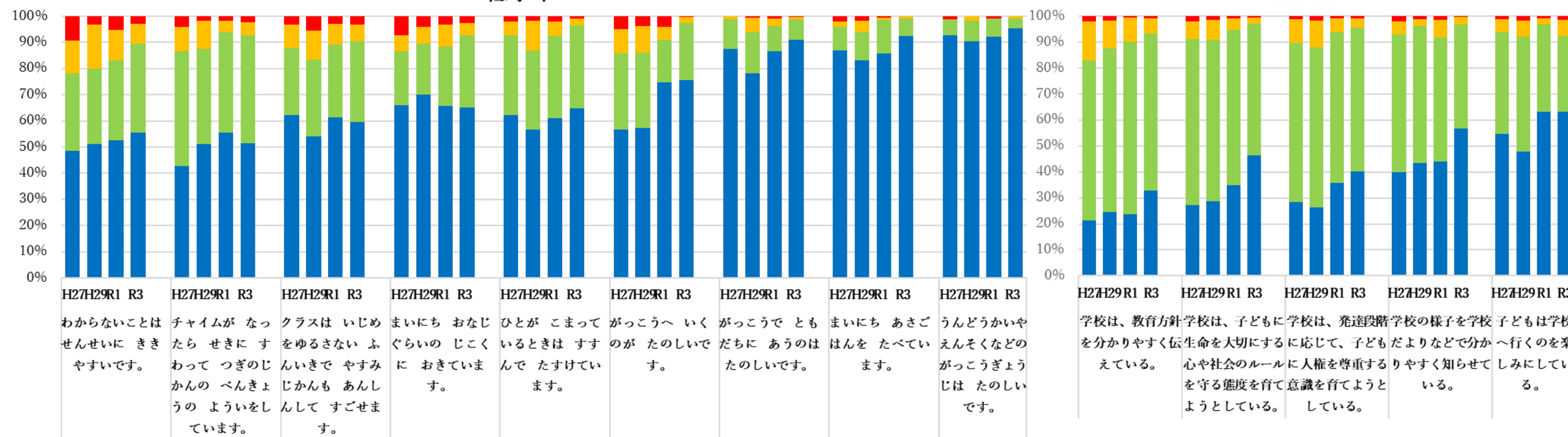
III タブレット持ち帰りについて



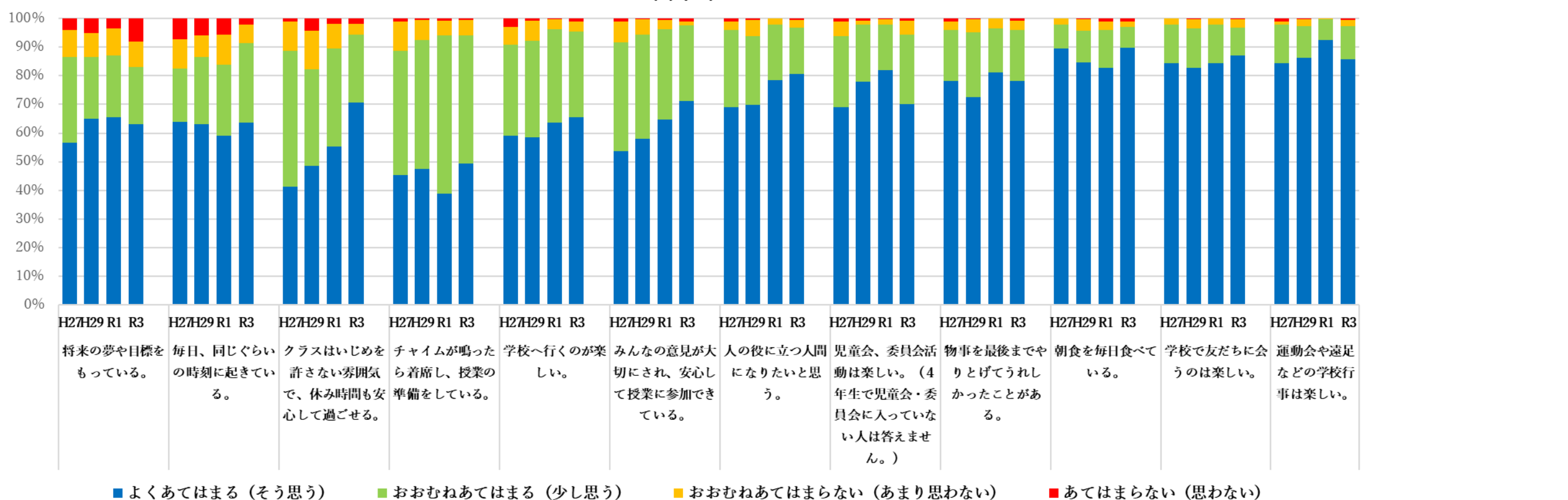
経年比較

低学年

保護者



高学年



■ よくあてはまる (そう思う)
 ■ おおむねあてはまる (少し思う)
 ■ おおむねあてはまらない (あまり思わない)
 ■ あてはまらない (思わない)